

当社製品の共通取扱い注意事項です。

1 火のそばへ置かないでください。火災や変形の原因になります。(ライト等の光源やフライヤー等の熱にもご注意ください)

2 オープンやグリルに使用しないでください。火災や変形の原因になります。(スチームコンベクションにもご注意ください)

3 揚げたてのフライなど、熱いものを入れないでください。変形して穴があくことがあります。

4 直射日光や、高温多湿の場所を避けて保管してください。特にA-PETは耐熱性が低く、熱変形を起こす場合があります。

5 容器の縁により指先を傷つける場合があります。ご注意ください。

6 容器を強く押さえないでください。破損する可能性があります。

7 袋が破損したまま保存しないでください。ホコリやゴミが付着する可能性があります。開封後は、密封できるポリ袋に入れ保管してください。

8 保管時は高く積まないでください。崩れやすくなります。

9 使用済み容器は再使用(リユース)しないでください。食品衛生上問題が起きることがあります。

10 廃棄は法令に従って行ってください。

11 衝撃を加えないで下さい。荷姿はケースでも袋でも、強い衝撃が加わると容器が壊れる恐れがあります。

12 袋破れにご注意下さい。ケースから取り出す際に、袋をつまむと破れる恐れがあります。両手で本体を持ち上げて下さい。

素材別の特性及び取扱い注意事項です。

| 素材名 | 素材特性 | 耐熱温度 JIS S2029準拠 | 電子レンジ 適性 | 耐寒性 | 耐油性 | 耐塩ビ ラップ性 |
|--|--|---------------------|-------------|-----|-----|-------------|
| ハイスター・ニューハイスター (耐熱・耐油低発泡ポリプロピレン) | 優れた耐熱性と、独特のソフト感を持ち合わせ高級感の演出を可能にする耐熱食品容器にご使用いただけます。 | 130℃ | ○ | × | ○ | ○ |
| WU (電子レンジ対応の折箱容器) | 内装品を耐熱素材にする事により電子レンジ加熱ができる製品を実現しました。 | 130℃ | ○ | × | ○ | ○ |
| PPファイラー (ファイラー入りポリプロピレン) | PPファイラー(無機充填剤:タルク)を配合する事により、耐熱温度が130℃までに高まり、優れた耐熱性から弁当、惣菜等、電子レンジ対応容器、耐熱食品容器としてご使用いただけます。 | 130℃ | ○ | × | ○ | ○ |
| マルチFP® (耐熱・耐油ポリスチレン) | 耐熱・耐寒性を併せ持った新しい製品です。発泡品なので断熱性にも優れ冷凍からレンジ加熱まで幅広い用途にご使用いただけます。 | 110℃ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| マルチSD® | マルチFPの改良により生まれたマルチの非発泡タイプです。成型性にも優れシャープな形状が可能な電子レンジ適性の高い素材です。 | 110℃ | ○ | △ | ○ | ○ |
| ハイブラック (耐熱・耐油ポリスチレン) | ポリスチレンの改良により、耐熱性を向上させました。漆黒の色調等、高級感の演出を可能にする耐熱食品容器としてご使用いただけます。 | 110℃ | ○ | × | ○ | ○ |
| エクスター® (耐熱・耐油発泡ポリスチレン) | ポリスチレンの改良により、耐熱性を向上させました。優れた耐熱性と独特のソフト感を持ち合わせ、高級感の演出を可能にする耐熱食品容器にご使用いただけます。 | 110℃ | ○ | △ | ○ | ○ |
| PP (ポリプロピレン) | 優れた耐熱性から内装・蓋、電子レンジ対応容器、耐熱食品容器としてご使用いただけます。 | 110℃ | ○ | × | ○ | ○ |
| O-PET® (2輪延伸PET) | PETを縦・横に延伸させ従来特性の耐油性、透明性を維持した上でOPS並みの80℃耐熱性と耐寒性を実現した世界初の素材です。 | 80℃ | △(※1) | ○ | ○ | ○ |
| エコPET® | 市場回収された容器やペットボトルを、エフビコ方式のリサイクル工程を通して、再生された原料から作られるPETシートを縦・横方向に延伸させ従来特性の耐油性、透明性を維持した上でOPS並みの80℃耐熱性と耐寒性を実現した世界初の素材です。 | 80℃ | △(※1) | ○ | ○ | ○ |
| OPS (2輪延伸ポリスチレン) | 透明性が良く、主に蓋の素材や、SA、SA-400シリーズに使用されています。 | 80℃ | △(※2) | ○ | × | × |
| HIPS (非発泡ポリスチレン) | 剛性に優れ成型性が良い為、常温使用の容器としてご使用いただけます。 | 90℃ | × | △ | × | × |
| PSP/低発泡PSP (発泡ポリスチレン) | 優れた保湿度、断熱性を有し剛性にも優れた成型性が良い為、常温使用の容器として用途は広がります。 | 80℃ | × | ○ | × | ○ |
| エコトレ® (発泡ポリスチレン) | 優れた保湿度、断熱性を有し剛性にも優れたPSP素材の特性を持つと共にスーパーで店頭回収されたトレイを再びトレイとして蘇らせたエフビコ方式「トレイtoトレイ」によるリサイクルトレイです。 | 80℃ | × | ○ | × | ○ |
| A-PET (非結晶ポリエチレンテレフタレート) | 透明性、耐油性も持ち合わせ、サラダ、惣菜容器として用途が広がります。 | 60℃ | × | × | ○ | ○ |
| エコAPET® | 市場回収された容器やペットボトルを、エフビコ方式のリサイクル工程を通して、再生された原料から作られるPETシートを用いた容器です。 | 60℃ | × | × | ○ | ○ |

電子レンジ適性
電子レンジで内容物をあたためることは出来ませんが、調理目的に使用しないでください。

耐寒性
耐寒性は素材間対比での優位性を当社社内基準にて評価しています。温度条件や衝撃の大きさによっては破損を生じる場合がありますので、事前に使用条件でのテストをお願いします。

耐油性
ポリスチレン系の容器はレモンなど柑橘類の皮に含まれるテルペン油やMCT油脂(※3)により脆化や変質が生じる場合があります。注) MCT油脂については下記参照願います。

耐塩ビラップ性
ポリスチレン系の容器は塩ビラップ(※4)に含まれる可塑剤により脆化(脆くなる)の危険性があります。ご注意ください。注) 可塑剤については下記参照願います。

(※1) O-PETの電子レンジ適性
蓋として使用する場合は変形が軽微であることから短時間のレンジ加熱が可能。フードパックなど本体として使用する場合は食材が触れることで変形が起こるが、油による穴あきの可能性はない。

(※2) OPSの電子レンジ適性
蓋として使用する場合は食材に触れていない前提で変形が軽微なことから短時間のレンジ加熱が可能。フードパックなど本体として使用する場合は油により穴があく可能性があることから不可。

(※3) MCT油脂について
MCT油脂とは、中鎖脂肪酸トリグリセリド主成分の油脂で、食品加工メーカーでは、広く離形剤・光沢剤・食品機械の潤滑油として利用されています。
使用例
●離形剤…キャンディー、キャラメル、だんご、かまぼこ等の加工性
●食品光沢剤…米飯、佃煮の艶出し
●潤滑油・滑り適正…食品機械の粘着防止、べた付き防止
このMCT油脂は、ポリスチレンに対し、アタック性が強く、ポリスチレン製の容器に使用した場合、脆化(脆くなる)し、容器が破損する場合がありますのでご注意ください。

(※4) 塩ビラップ(可塑剤)
塩ビはそもそも硬い樹脂(プラスチック)ですが、この樹脂を軟らかくストレッチラップとして使用するために塩ビラップには可塑剤が含まれています。可塑剤はポリスチレン系(OPS、HIPS)の容器の対アタック性が強く、可塑剤の影響により脆化(脆くなる)し、容器が破損する場合がありますのでご注意ください。

●アルミ蒸着製品に関する注意とお願い。
対象製品

| 柄名 | シリーズ名 | シリーズ名 | シリーズ名 | シリーズ名 | シリーズ名 | シリーズ名 | シリーズ名 |
|--------------|--------|----------|------------|------------|-------|------------|------------|
| デラックス/シルバー/銀 | 豊漁A | FU(25) | 盛皿 | MTD | コリーナ | MSF | MV |
| | しゃぶしゃぶ | メガプレート | ティアラ | 重ね桶 | 角盛鉢A | シェルトプラッター丸 | シェルトプラッター角 |
| グレイス銀 | 平舟 | 氷河(刺身) | 葉皿(刺身) | 盛皿 | オードブル | MSF | プラッター丸 |
| | 平舟盛台 | MFPデリボウル | MV | FU(25) | | | |
| ゴールド/金 | ティアラ | オードブル | シェルトプラッター丸 | シェルトプラッター角 | Sステージ | 鈴音 | コリーナ |
| その他 | WK | | | | | | |

注意点
上記シリーズは、表面ラミネートの内側にアルミニウムを蒸着した容器(以下「アルミ蒸着容器」という)です。アルミ蒸着容器は電子レンジ使用不可となっております。アルミ蒸着容器を電子レンジで使用すると火花が発生し、発火して電子レンジが損傷する場合があります。アルミ蒸着容器を使用して食品を販売する時は、電子レンジ使用不可のPOPやシールで消費者に注意をお願いします。金属探知機で検査を実施される場合は、金属探知機に反応する場合がありますので、ご注意ください。